

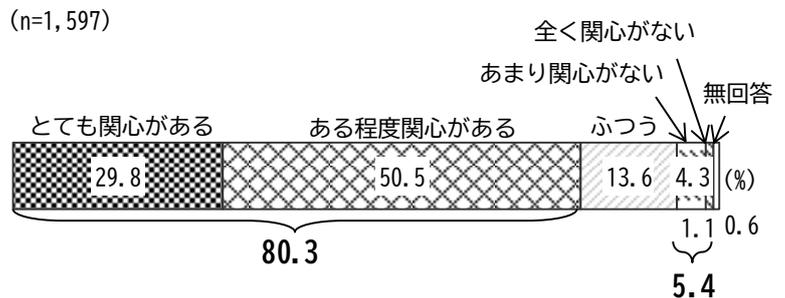
# 1

## 地球温暖化対策について

### (1) 地球温暖化問題の関心度

地球温暖化問題の関心度を聞いたところ、「とても関心がある」(29.8%)と「ある程度関心がある」(50.5%)を合わせた『関心がある(計)』(80.3%)は8割となっている。

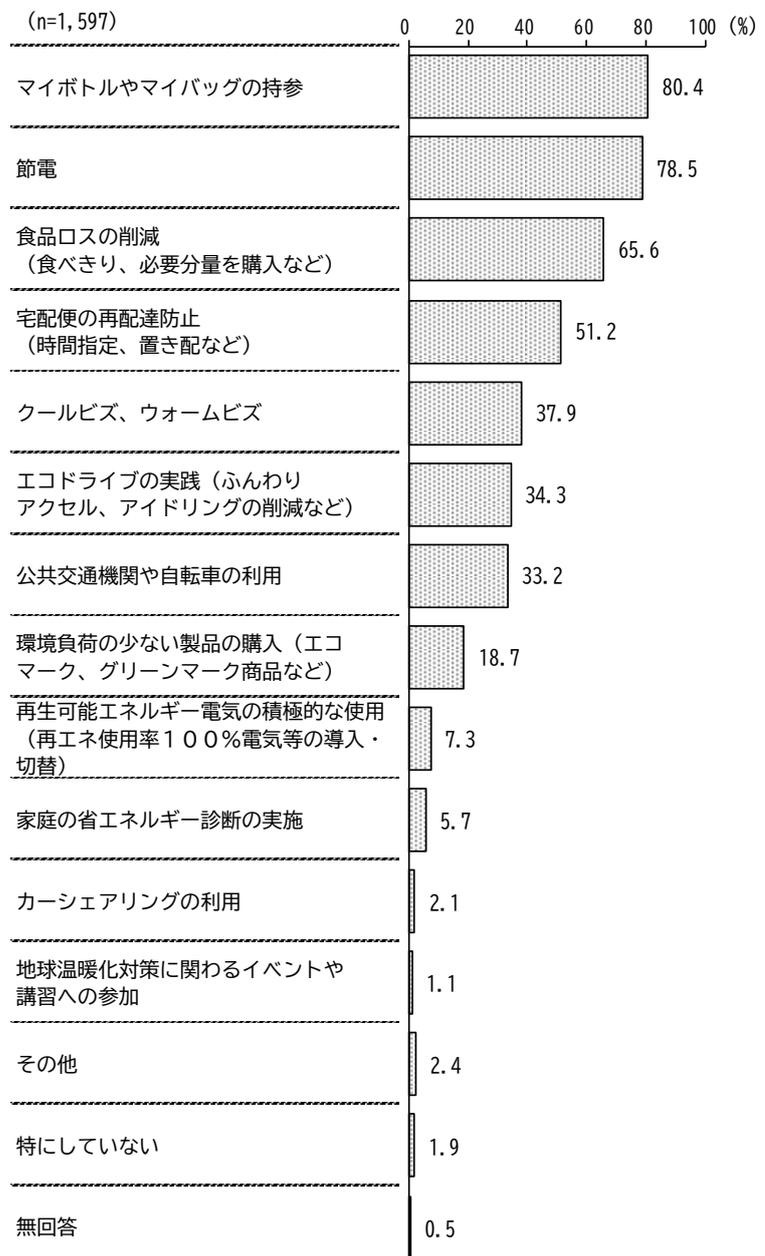
一方、「あまり関心がない」(4.3%)と「全く関心がない」(1.1%)を合わせた『関心がない(計)』(5.4%)は1割以下となっている。



### (2) 省エネルギーや環境に配慮した行動の有無

(複数回答:いくつでも)

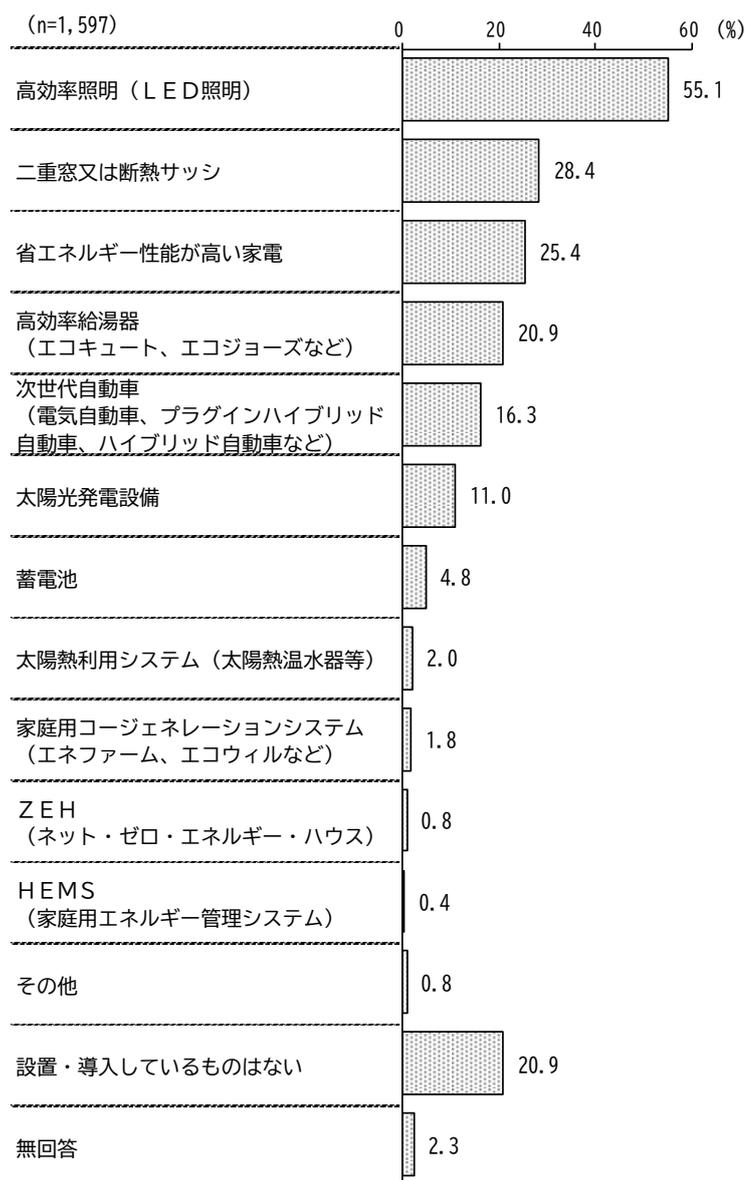
省エネルギーや環境に配慮した行動について聞いたところ、「マイボトルやマイバッグの持参」(80.4%)が8割で最も高く、以下「節電」(78.5%)、「食品ロスの削減(食べきり、必要分量を購入など)」(65.6%)、「宅配便の再配達防止(時間指定、置き配など)」(51.2%)が続く。



### (3)再生可能エネルギー・省エネルギー設備等の設置・導入の有無

(複数回答:いくつでも)

再生可能エネルギー・省エネルギー設備等の設置・導入について聞いたところ、「高効率照明（LED照明）」（55.1%）が5割台半ばで最も高く、以下「二重窓又は断熱サッシ」（28.4%）、「省エネルギー性能が高い家電」（25.4%）、「高効率給湯器（エコキュート、エコジョーズなど）」（20.9%）が続く。



## 「地球温暖化対策について」の自由回答(抜粋)

ご意見やご提案を自由に記述していただいたところ、265人から回答が寄せられた。一部抜粋してご意見を記載するものとする。

### ■「地球温暖化対策について」の自由回答（抜粋）

- 地球温暖化対策を必要と感じつつも、具体的に積極的に何かをすることはしていないのが現状です。県の方からこういうことをしましょう、やめましょうという提示をしていただけるとありがたいのですが。  
(女性、75歳以上、千葉地域)
- 地球温暖化対策は自分で出来る事が限られてしまっていて、費用がかかる対策は出来ない状態です。国、県、市で出来る太陽光発電、風力発電をもっと増やしていくべきだと思います。もちろん地元の方の理解や、風景を壊す事はあってはならないと思っていますので、まずは話し合いや意見を聞く事から始めるのが1番だと思います。  
(男性、30代、海匝地域)
- 簡単にできる節電や、LED照明という便利で一般的に普及が進んでいるものは取り組みやすいです。もっと取り組みやすくするのなら、ポイント付与とかがあるとやってみようかな、という気持ちになれると思います。  
(女性、18～19歳、東葛飾地域)
- 太陽光パネルおよび蓄電池をもっと一般家庭に手頃に取り付けできるように、補助金や安全に依頼できる企業（業社が多すぎるため選択に困る）を推薦する等の対策をお願いしたいです。  
(男性、20代、印旛地域)
- 蓄電池を購入したいが、高価なので買えません。希望する人全てに補助して欲しいです。  
(女性、65～69歳、東葛飾地域)
- 自然を壊してまで太陽光パネルを使用してほしくない。動物達の居場所をなくすのは温暖化対策ではない。  
(女性、40代、長生地域)
- 太陽光発電に限らない自然エネルギーを積極的に使う社会への移行を促進する政策が望まれます。  
(男性、50代、葛南地域)
- 千葉県の外房、海洋沖に洋上風力の活用が議論されていますが、大いに期待しています。景観を損なわず、なおかつ、荘厳で風光明媚な九十九里海岸を生かし、観光業、地方創生、雇用創出を官民一体となり、邁進していくことを期待しています。  
(男性、40代、山武地域)
- 市原市のようにスーパーで購入できるビニール袋を市町村指定のゴミ袋として使用できるようにしてほしい。エコバッグを販売するようになってそれを生産する過程で出す二酸化炭素とビニール袋を生産する際の二酸化炭素を合わせてきちんと削減できているのか疑問。  
(男性、30代、君津地域)

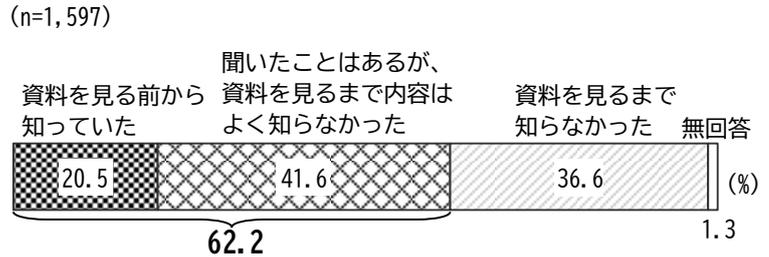
## 2

# 大規模地震に関する気象庁からの情報について

### (1)「南海トラフ地震臨時情報」の認知度

「南海トラフ地震臨時情報」の認知度を聞いたところ、「資料を見る前から知っていた」(20.5%)と「聞いたことはあるが、資料を見るまで内容はよく知らなかった」(41.6%)を合わせた『聞いたことがある(計)』(62.2%)は6割を超える。

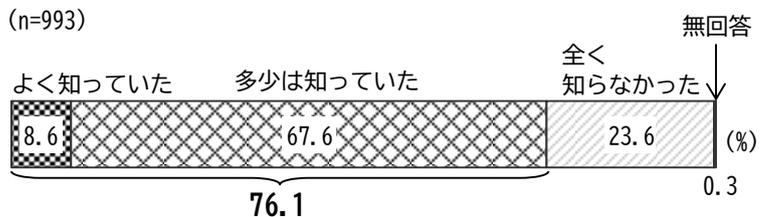
一方、「資料を見るまで知らなかった」(36.6%)は3割台半ばとなっている。



### (1-1)「南海トラフ地震臨時情報」の意味やとるべき行動の認知度

「南海トラフ地震臨時情報」を聞いたことがあると回答した993人を対象に、その意味やとるべき行動の認知度を聞いたところ、「よく知っていた」(8.6%)と「多少は知っていた」(67.6%)を合わせた『知っていた(計)』(76.1%)は7割台半ばとなっている。

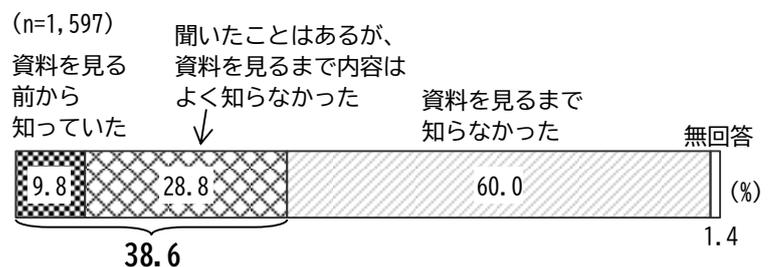
一方、「全く知らなかった」(23.6%)は2割台半ばとなっている。



### (2)「北海道・三陸沖後発地震注意情報」の認知度

「北海道・三陸沖後発地震注意情報」の認知度を聞いたところ、「資料を見る前から知っていた」(9.8%)と「聞いたことはあるが、資料を見るまで内容はよく知らなかった」(28.8%)を合わせた『聞いたことがある(計)』(38.6%)は約4割となっている。

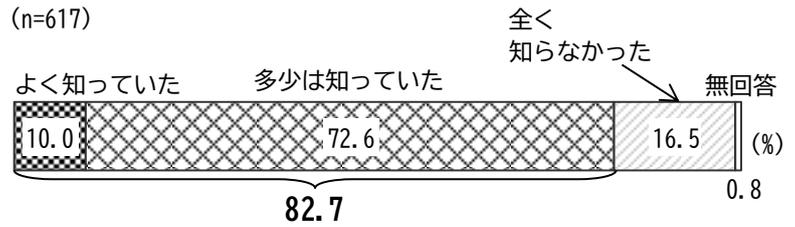
一方、「資料を見るまで知らなかった」(60.0%)は6割となっている。



### (2-1)「北海道・三陸沖後発地震注意情報」の意味やとるべき行動の認知度

「北海道・三陸沖後発地震注意情報」を聞いたことがあると回答した617人を対象に、その意味やとるべき行動の認知度を聞いたところ、「よく知っていた」(10.0%)と「多少は知っていた」(72.6%)を合わせた『知っていた(計)』(82.7%)は8割を超える。

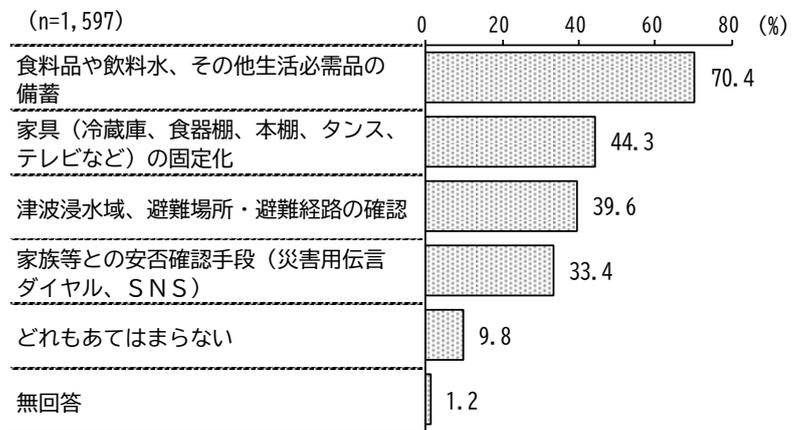
一方、「全く知らなかった」(16.5%)は1割台半ばとなっている。



### (3)地震や津波などの災害への対策の有無

(複数回答:いくつでも)

地震や津波などの災害への対策の有無について聞いたところ、「食料品や飲料水、その他生活必需品の備蓄」(70.4%)が7割で最も高く、以下「家具(冷蔵庫、食器棚、本棚、タンス、テレビなど)の固定化」(44.3%)、「津波浸水域、避難場所・避難経路の確認」(39.6%)、「家族等との安否確認手段(災害用伝言ダイヤル、SNS)」(33.4%)が続く。



## 「大規模地震に関する気象庁からの情報について」の自由回答(抜粋)

ご意見やご提案を自由に記述していただいたところ、169人から回答が寄せられた。一部抜粋してご意見を記載するものとする。

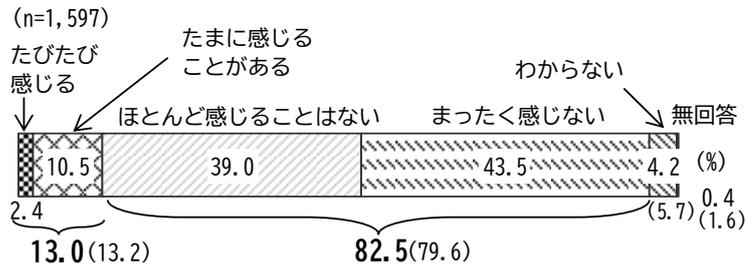
### ■「大規模地震に関する気象庁からの情報について」の自由回答(抜粋)

- 後発地震注意情報や地震臨時情報は身の安全に関わる大切な情報。もっと広く知ってもらえるような方法での情報発信を望みます。  
(女性、70～74歳、山武地域)
- 備蓄と言っても、どの程度、およそ何日分用意したら良いか、どの位で救援物資が届くのか知りたいです。  
(男性、20代、海匠地域)
- 定期的に備えを確認しなければと思いつつ忘れがちになるので、何かきっかけになるようなよびかけのようなものがされるとありがたいです。  
(女性、30代、印旛地域)
- 家でのダンボールトイレ等の対応がまだ出来ていない。人口、家が多い地区なので避難所が集中すると思われる為、まずは自宅で1週間程度を考える。  
(男性、70～74歳、千葉地域)
- 大規模地震でテレビもネットも使えない状況だと、ラジオくらいしか情報を集める手立てが思いつきません。うちのラジオ、ちゃんと動くか確認しておこうと思います。  
(女性、50代、山武地域)
- 警報が色々出るが本当に大事な警報の判断が難しい。下手に避難するために外出するより家の2Fで待機する方が安全だと感じる。  
(男性、30代、葛南地域)
- 常日頃から怪我をしないような家具の配置を頭に入れて行動しやすい流れを考えている。天気予報や天気図を覚えておくことも大切かなと思う。  
(男性、75歳以上、東葛飾地域)
- 各世帯向けに津波浸水域や避難場所、とるべき行動をまとめたガイドブック(簡易冊子 ※子供(小学生)でもわかる)を配付して欲しい。  
(男性、40代、葛南地域)
- X(twitter)の情報は、流れてきたら読むと思います。TVや新聞よりかは親近感があります。  
(女性、18～19歳、東葛飾地域)
- 地域での訓練をしっかりすべきだと思います。(コロナ等でなかったため)お年寄りの方が  
多い地域では、市の役員の方や自治体で訓練を実施していくべきだと思います。  
(女性、30代、印旛地域)

### 3 人権問題について

#### (1) 過去5年間に差別や人権侵害を受けた経験

過去5年間に差別や人権侵害を受けた経験を聞いたところ、「たびたび感じる」(2.4%)と「たまに感じることもある」(10.5%)を合わせた『感じる(計)』(13.0%)は1割を超える。一方、「ほとんど感じることはない」(39.0%)と「まったく感じない」(43.5%)を合わせた『感じない(計)』(82.5%)は8割を超える。

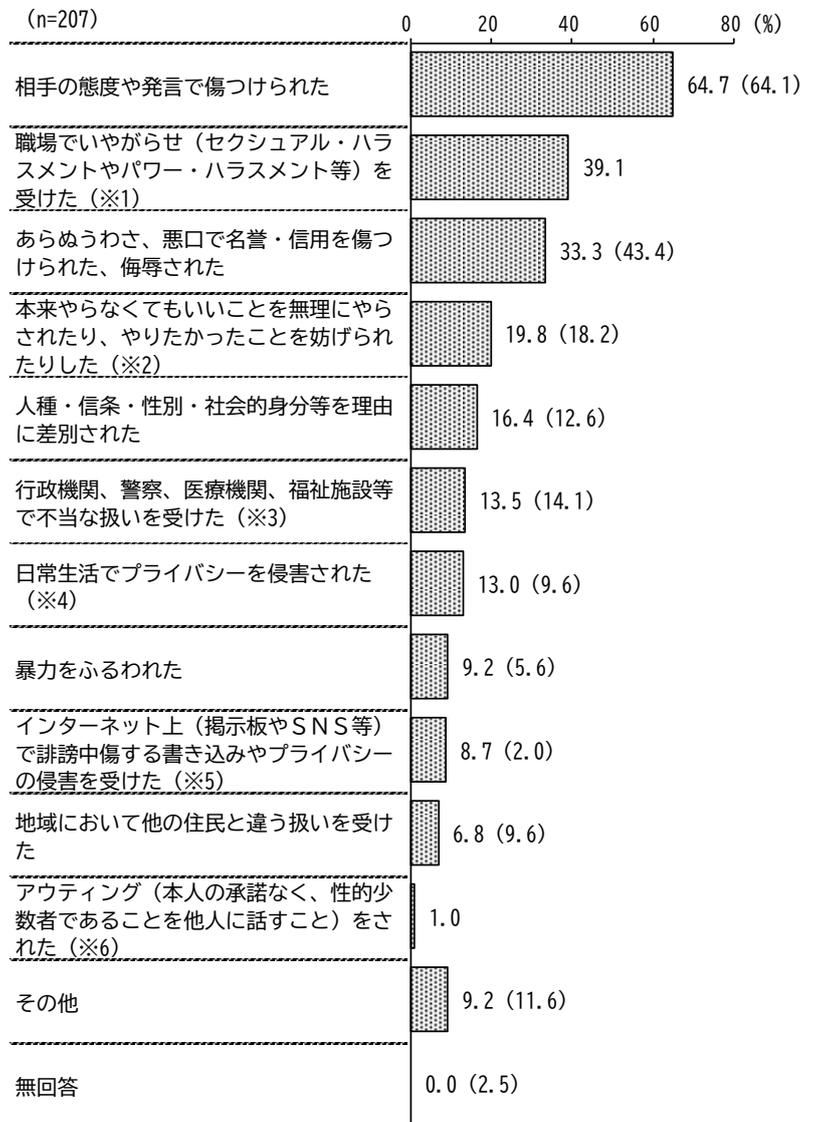


注) ( ) 書きは、平成27年度の調査結果を示している。

#### (1-1) 差別や人権侵害を受けた内容

(複数回答:いくつでも)

過去5年間に差別や人権侵害を受けたと感じると回答した207人を対象に、どのような内容か聞いたところ、「相手の態度や発言で傷つけられた」(64.7%)が6割台半ばで最も高く、以下「職場でいやがらせ(セクシュアル・ハラスメントやパワー・ハラスメント等)を受けた」(39.1%)、「あらぬうわさ、悪口で名誉・信用を傷つけられた、侮辱された」(33.3%)が続く。



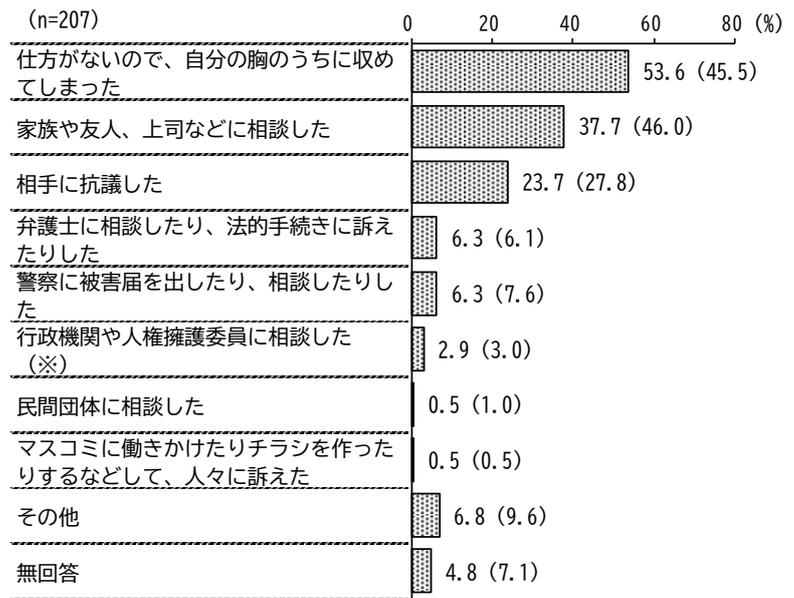
注) ( ) 書きは、平成27年度の調査結果を示している。

- (※1) 「職場でいやがらせ(セクシュアル・ハラスメントやパワー・ハラスメント等)を受けた」は新規項目
- (※2) 平成27年度は「本来義務ではないことを無理にさせられたり、やりたかったことを妨げられたりした」
- (※3) 平成27年度は「役所・警察や医療機関、福祉施設等で不当な扱いを受けた」
- (※4) 平成27年度は「プライバシーを侵害された」
- (※5) 平成27年度は「インターネットを通じ、嫌がらせを受けた」
- (※6) 「アウトティング(本人の承諾なく、性的少数者であることを他人に話すこと)をされた」は新規項目

## (1-2)差別や人権侵害を受けたときの対応

(複数回答:いくつでも)

過去5年間に差別や人権侵害を受けたと感じると回答した207人を対象に、差別や人権侵害を受けたときの対応について聞いたところ、「仕方がないので、自分の胸のうちに収めてしまった」(53.6%)が5割台半ばで最も高く、以下「家族や友人、上司などに相談した」(37.7%)、「相手に抗議した」(23.7%)が続く。



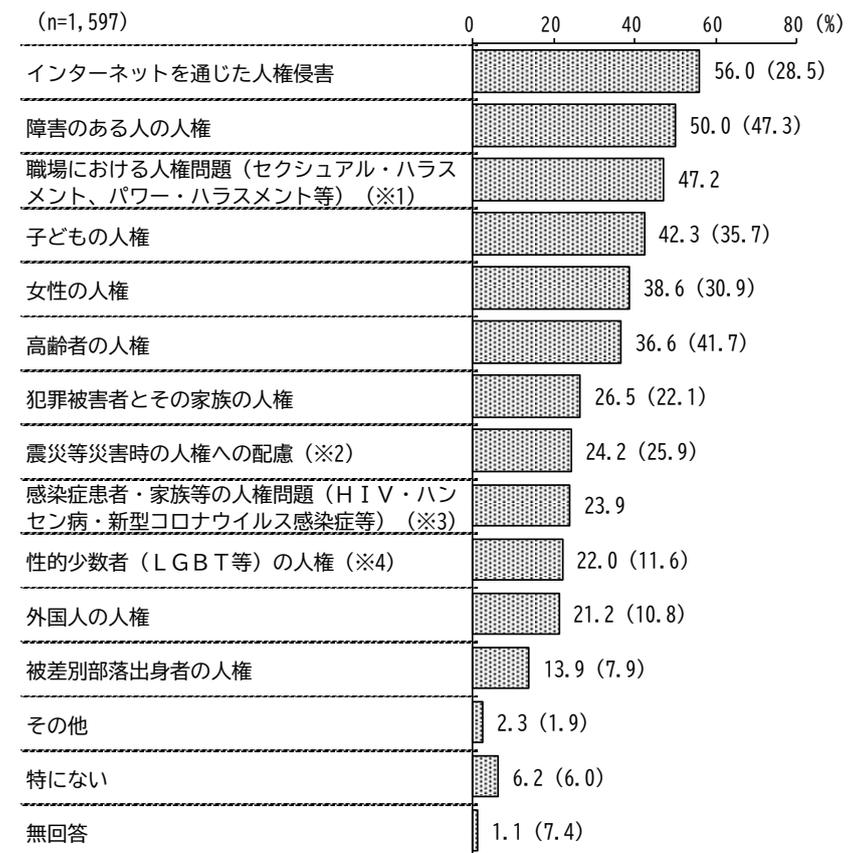
(※) 平成27年度は「行政機関や人権擁護委員会に相談した」

注) ( ) 書きは、平成27年度の調査結果を示している。

## (2)人権問題の解決のための啓発で力を入れるべきもの

(複数回答:いくつでも)

人権問題の解決のための啓発で力を入れるべきものについて聞いたところ、「インターネットを通じた人権侵害」(56.0%)が5割台半ばで最も高く、以下「障害のある人の人権」(50.0%)、「職場における人権問題(セクシュアル・ハラスメント、パワー・ハラスメント等)」(47.2%)、「子どもの人権」(42.3%)が続く。



(※1)「職場における人権問題(セクシュアル・ハラスメント、パワー・ハラスメント等)」は新規項目

(※2) 平成27年度は「災害時の人権への配慮」

(※3)「感染症患者・家族等の人権問題(HIV・ハンセン病・新型コロナウイルス感染症等)」は新規項目

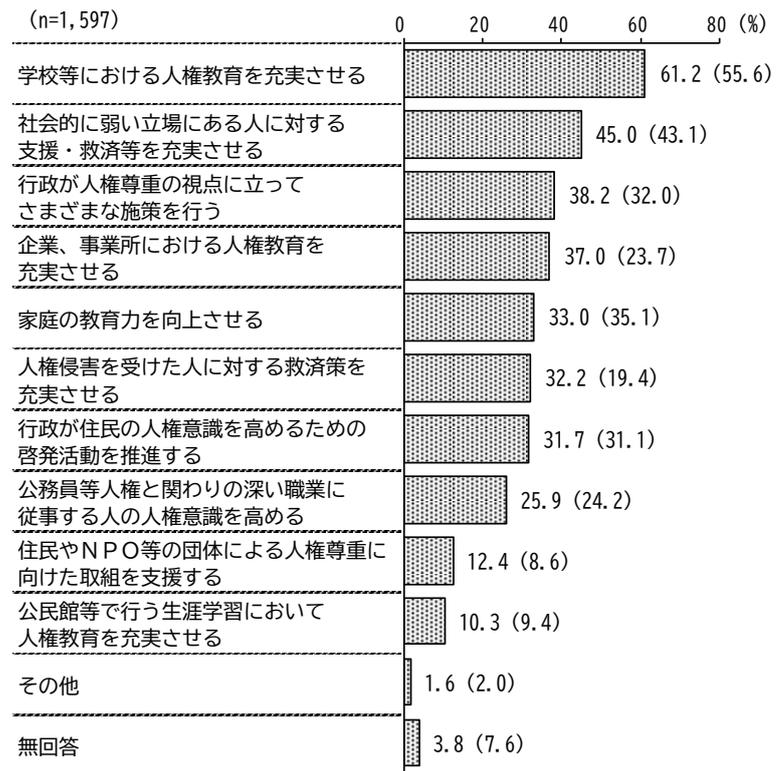
(※4) 平成27年度は「性的指向、性同一性障害に関する人権」

注) ( ) 書きは、平成27年度の調査結果を示している。

### (3)人権が尊重される社会を実現するための県の取り組み

(複数回答:いくつでも)

人権が尊重される社会を実現するための県の取り組みについて聞いたところ、「学校等における人権教育を充実させる」(61.2%)が6割を超えて最も高く、以下「社会的に弱い立場にある人に対する支援・救済等を充実させる」(45.0%)、「行政が人権尊重の視点に立ってさまざまな施策を行う」(38.2%)、「企業、事業所における人権教育を充実させる」(37.0%)が続く。



注) ( ) 書きは、平成27年度の調査結果を示している。

## 「人権問題について」の自由回答(抜粋)

ご意見やご提案を自由に記述していただいたところ、173人から回答が寄せられた。一部抜粋してご意見を記載するものとする。

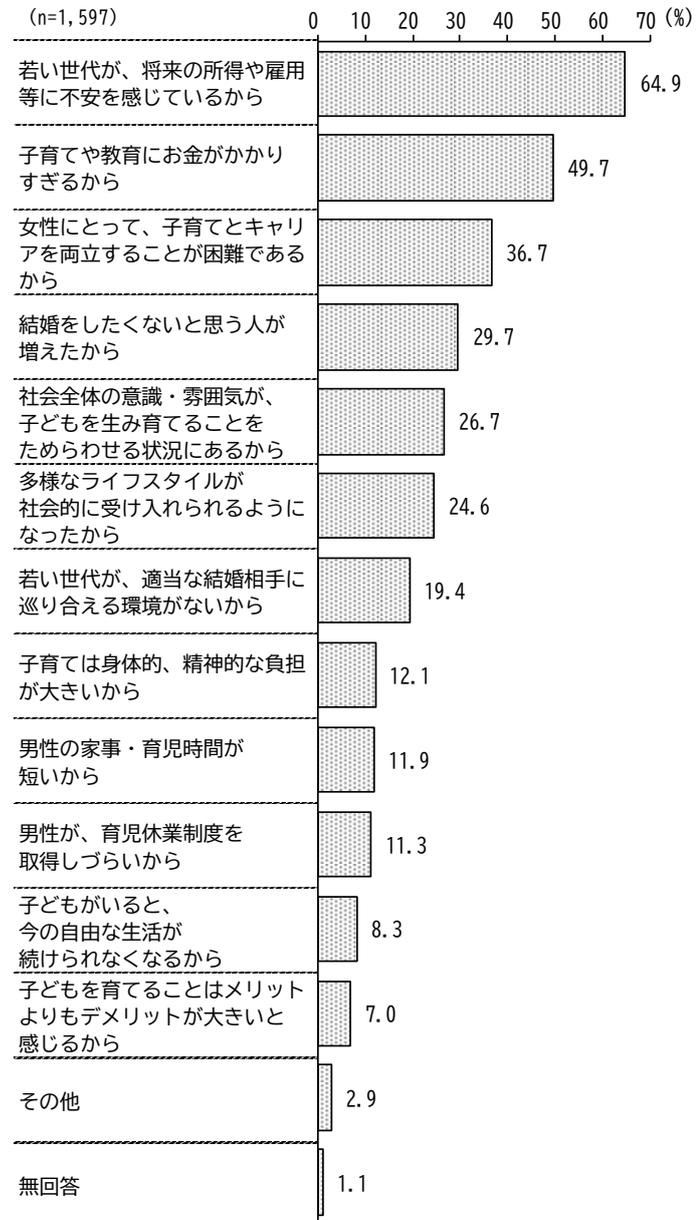
### ■「人権問題について」の自由回答(抜粋)

- 偏見をなくすことは難しいと思います。お互いを尊重する気持ちは大事です。知らないことを知る教育は助けになると思います。(男性、60～64歳、東葛飾地域)
- 女性の人権尊重に対する施策が急務だと思う。まず政府、自治体が行なうことは女性の議員を一定数増やすこと。そうすれば女性の視点での政治が行なわれ、人権問題の解決にもつながると思う。硬直した男性の視点では人権問題の解決は進まない。(女性、75歳以上、東葛飾地域)
- 北海道内の小学校ではアイヌについて、就職先(大阪の企業)では定期的に同和問題について学ぶ機会に恵まれ、人権問題に目を向ける良いきっかけとなりました。啓発と教育、そしてこれに携わる人の意識向上が人権尊重と支援・救済の基礎になると考えます。(女性、40代、葛南地域)
- 被害者支援、カウンセリングも必要だと思いますが、日本で最も足りないものは加害者へのカウンセリングではないかと思います。「いじめ」についてですが、加害者が少しの説教だけでその後普通の生活をしているのはどうかと思う。(性別回答しない、40代、葛南地域)
- 特にインターネット上での誹謗中傷や風評被害に対しては、罰則を強化して対策をしてほしい。(男性、70～74歳、君津地域)
- 人権問題については、子供のころから家庭や学校などで教育していくことが必要だと思います。もちろん、大人もしっかり理解できていないといけませんので、何かイベントを通じて知るきっかけ作りがあってもいいと思います。(男性、50代、葛南地域)
- 人権については、教育が全てと感じます。受け身で行政に対応を任せて、特殊なイベントとして扱うのではなく、自発的に自分事として考えられる機会を日常の場面で増やす。その教育を日常の生活の中に組み込んでいくことが効果的と考えます。(女性、40代、東葛飾地域)
- 人権について、何が侵害に当たるのか、責任を持つべき人が誰なのかがわからない人が増えていると思います。日常生活の中で当たり前のこととして理解してもらい取り組みを進めるべきだと思います。(男性、70～74歳、葛南地域)
- 障害のある人はいつも特別な目で見られがちだと思う。車椅子の人が入れるカフェ、レストランが少ない。バリアフリー施設を増やしていけたら、もっと住みやすくなるかなと思う。入れないから諦めている人沢山いるので県で補助できると、もっと住みやすい県になるのではないかなと思う。(女性、20代、千葉地域)

## (1)少子化の主な原因と思うもの

(複数回答:3つまで)

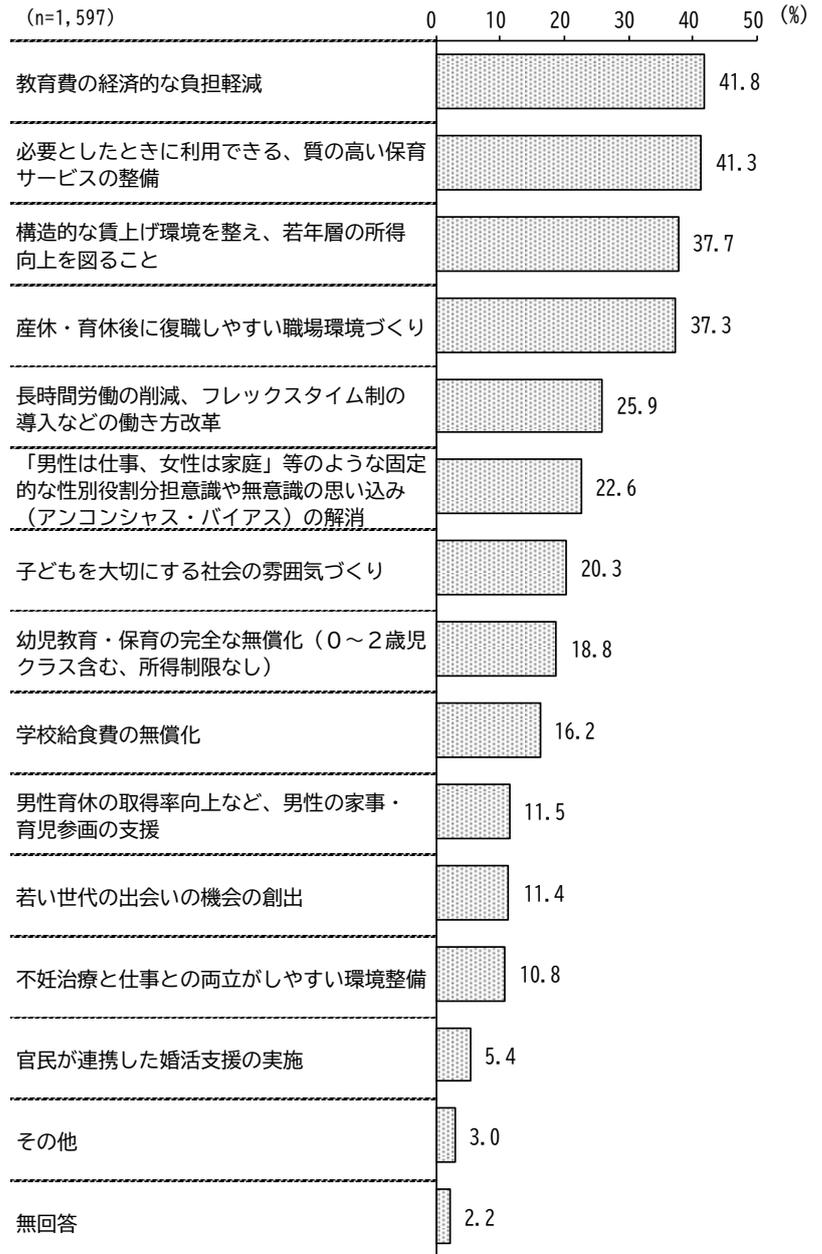
少子化の主な原因と思うものについて聞いたところ、「若い世代が、将来の所得や雇用等に不安を感じているから」(64.9%)が6割台半ばで最も高く、以下「子育てや教育にお金がかかりすぎるから」(49.7%)、「女性にとって、子育てとキャリアを両立することが困難であるから」(36.7%)、「結婚をしたくないと思う人が増えたから」(29.7%)が続く。



## (2)少子化対策として効果があると思うこと

(複数回答:3つまで)

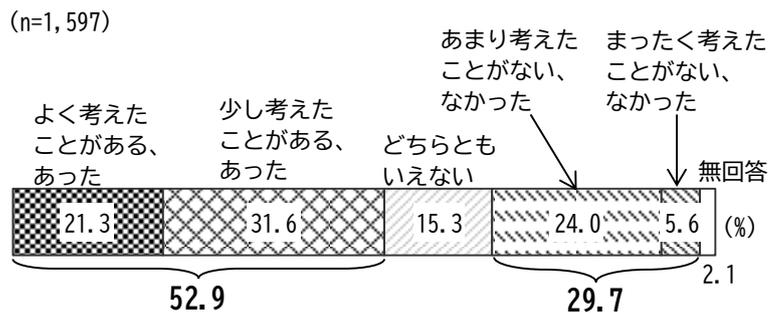
少子化対策として効果があると思うことについて聞いたところ、「教育費の経済的な負担軽減」(41.8%)が4割を超えて最も高く、以下「必要としたときに利用できる、質の高い保育サービスの整備」(41.3%)、「構造的な賃上げ環境を整え、若年層の所得向上を図ること」(37.7%)、「産休・育休後に復職しやすい職場環境づくり」(37.3%)が続く。



### (3)ライフプランを考えた経験の有無

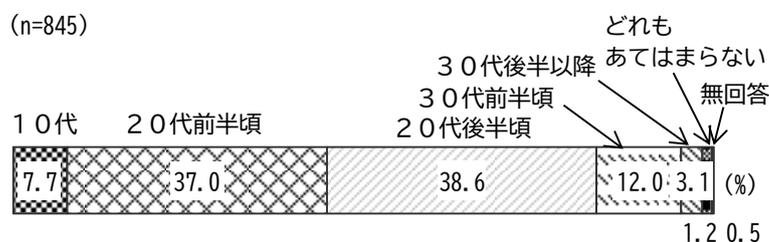
ライフプランを考えた経験の有無を聞いたところ、「よく考えたことがある、あった」(21.3%)と少し考えたことがある、あった」(31.6%)を合わせた『考えたことがある、あった(計)』(52.9%)は5割を超える。

一方、「あまり考えたことがない、なかった」(24.0%)と「まったく考えたことがない、なかった」(5.6%)を合わせた『考えたことがない、なかった(計)』(29.7%)は約3割となっている。



#### (3-1)ライフプランを考え始めた年齢

ライフプランを考えた経験がある、あったと回答した845人を対象に、ライフプランを考え始めた年齢を聞いたところ、「20代後半頃」(38.6%)が約4割と最も高く、以下「20代前半頃」(37.0%)、「30代前半頃」(12.0%)、「10代」(7.7%)と続く。



## 「少子化対策について」の自由回答(抜粋)

ご意見やご提案を自由に記述していただいたところ、277人から回答が寄せられた。一部抜粋してご意見を記載するものとする。

### ■「少子化対策について」の自由回答（抜粋）

- 子育ての大変さや経済的なデメリットを問題として取り上げるよりも、結婚や子どもがいることの良さなどをもっとアピールするのもよいと思う。  
(女性、50代、千葉地域)
- 子育てする為の所得が少なく将来産まれてくる子供に十分な教育、贅沢をさせることが出来ないから子供を作るのが難しい。  
(男性、20代、葛南地域)
- 今でも支援はありますが、やはり子どもがいる家庭にお金やサービスが提供・支援されるのは心強いです。これらをもっとアピール・発信することが安心して子どもを育てる意識が出てくると思いました。  
(女性、18～19歳、東葛飾地域)
- 都会はどうしても核家族にならざるを得ない。であるならば公的機関の支援はどうしても必要。金銭的なことよりも精神的な負担を減らせられるような施策を拡充する必要があるのでは。  
(男性、65～69歳、印旛地域)
- 教育費の高騰など、今の若者世代の子育てはとても厳しい現実がある。特に女性は仕事のキャリアにも大きな障害となる可能性もあり、現状のままでは子供が欲しくても諦めざるを得ない人が多い。安心して生み、育てられる環境作りが一刻も早く必要だと思う。男性の「長時間労働は会社に貢献」という時代遅れな認識を改める必要がある。共同で子育てを行えば女性の負担が減り、子育てがしやすくなると思う。  
(男性、60～64歳、葛南地域)
- 若い人が働きやすい環境を作る事。  
(女性、75歳以上、君津地域)
- 学校教育に関する費用は国が完全に負担して貰いたい。また、18歳までの医療費の無償化が望ましい。  
(男性、50代、君津地域)
- 色々な無償化を進めるより、子育てしやすい周囲のコミュニティーをもうけて、人どうしが支え合える場をもっと必要。  
(女性、40代、葛南地域)
- 正直に言うと結婚をして子供を生むのは周りの手助けが大切ですが、それ以前に覚悟が必要です。その覚悟が出来てないから少子化になっていると思ってます。  
(男性、30代、海匝地域)
- 子どもを持たないことを選択した人の権利も守られるべきである。また、子どもを持ったものの育てることに困難を感じる人や望まない妊娠をした人などと、子どもを持ちたくても持てない人とを、うまく繋いでいく必要がある。養子縁組制度や里親制度を見直し、産まれた子どもの命と人権を守る仕組みを整える事が必要とされていると思う。少子化対策として、さらに子どもを増やすという視点も大切だが、今ある命を守っていく、守れる制度を整えてほしい。  
(女性、30代、東葛飾地域)

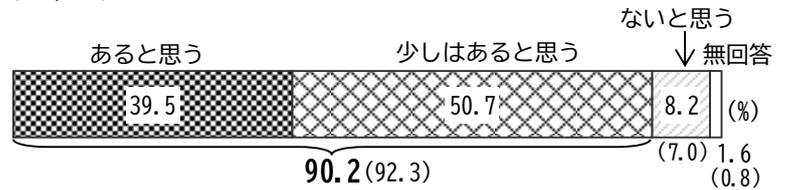
## 5

## 障害者差別について

## (1) 障害を理由とする差別や偏見の有無

障害を理由とする差別や偏見の有無を聞いたところ、「あると思う」(39.5%)と「少しはあると思う」(50.7%)を合わせた『あると思う(計)』(90.2%)は9割となっている。一方、「ないと思う」(8.2%)は約1割となっている。

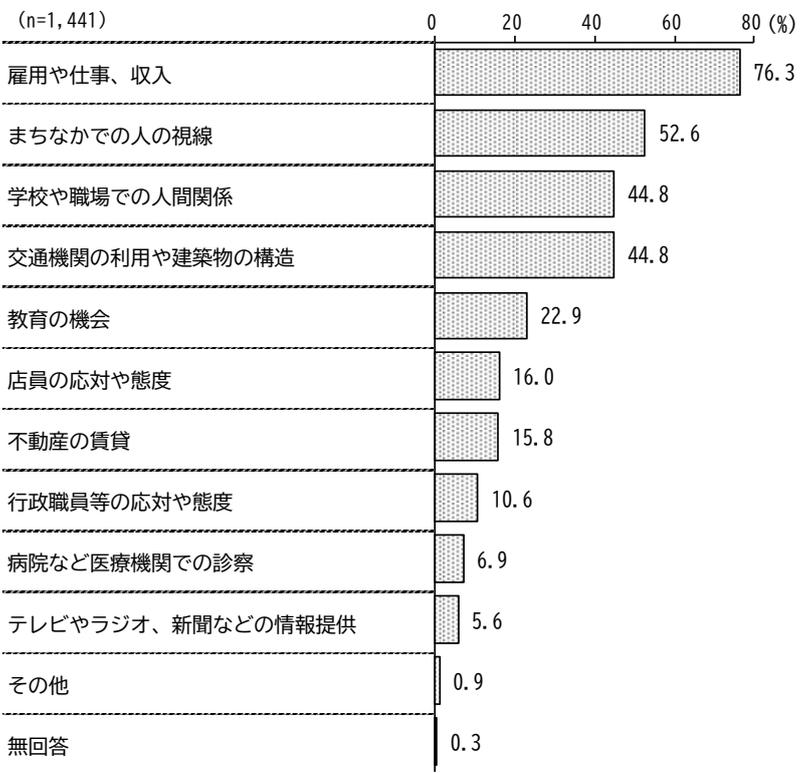
(n=1,597)



## (1-1) 障害を理由とする差別や偏見がある場面

(複数回答:いくつでも)

障害を理由とする差別や偏見があると回答者した1,441人を対象に、障害を理由とする差別や偏見がある場面を聞いたところ、「雇用や仕事、収入」(76.3%)が7割台半ばで最も高く、以下「まちなかでの人の視線」(52.6%)、「学校や職場での人間関係」(44.8%)、「交通機関の利用や建築物の構造」(44.8%)が続く。



## 「障害者差別について」の自由回答(抜粋)

ご意見やご提案を自由に記述していただいたところ、162人から回答が寄せられた。一部抜粋してご意見を記載するものとする。

### ■「障害者差別について」の自由回答（抜粋）

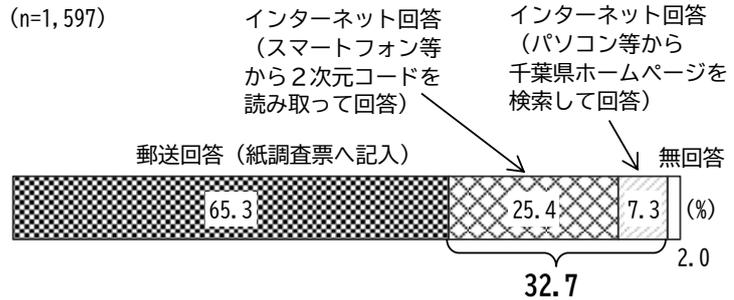
- 身近に障害者の方がいないとなかなか理解出来ないと思いますので、やはり子供のうちから家庭教育が必要と考えます。  
(女性、70～74歳、千葉地域)
- 身内に障害者がいるのですが、幸いなことにあからさまな差別を受けたことはありません。いつも助けていただいています。世の中の障害を持つ人たちが、(もちろんそうでない人たちも) 悲しい気持ちを持つことなく、幸せに暮らせる社会であることを願っています。  
(女性、50代、山武地域)
- 障害者用に駐車スペースが入り口近くに用意されているが実際使われているのは健常者が多いと思います。障害者を配慮する気持ちを持つ人が少なく感じます。お店の人では注意しづらいと思います。第3者が注意もしくは取り締まることも必要なのでは。(男性、50代、千葉地域)
- 障害者の方との交流が無いのが誤解や不安、怖さを生むのでは、と思います。もっと障害者を支援するだけではなく障害者の方の力をお借りするような、流れが欲しいです。  
(女性、50代、東葛飾地域)
- 障害者でも仕事ができ、本当に優秀な人もいる。しかしながら、障害者だから出世できないような人も多くいるため、そういった差別はなくなってほしいと感じる。(女性、30代、千葉地域)
- 障害のある人が博物館や美術館に行こうとしてもエレベーターやエスカレーターがなく会場に入れない所が市町村には多くある。トイレも同様。催し物のパンフレットは多く配布されるが、障害者も行きやすい設備が早急にほしい。特に安房地域。  
(女性、70～74歳、安房地域)
- 住んでいる地域で、学校、職場で障害を抱える方と接する機会がなかったので、どうしても接し方が分からず不自然な反応をしてしまいがちです。いろいろな方がいて当たり前という意識が育つ雰囲気のある社会であって欲しいです。  
(女性、50代、葛南地域)
- 障害のある方には手話を教わるなど、楽しい体験をすることは相手の理解にも繋がると思うので、そういうイベントがあったらいいなと思います！！  
(女性、18～19歳、東葛飾地域)
- 子どもの頃に障害のある同年代の子どもに関わらなかった人には特に差別的な意識があると感じる。特別支援学級の設置された学校を増やす。又はインクルーシブ教育を活用するなどして、障害の有無に関わらず様々な個性の子どもたちが平等に関わり合う環境があると良いと思う。  
(女性、20代、東葛飾地域)

## 6

## 世論調査について

## (1)世論調査の回答方法

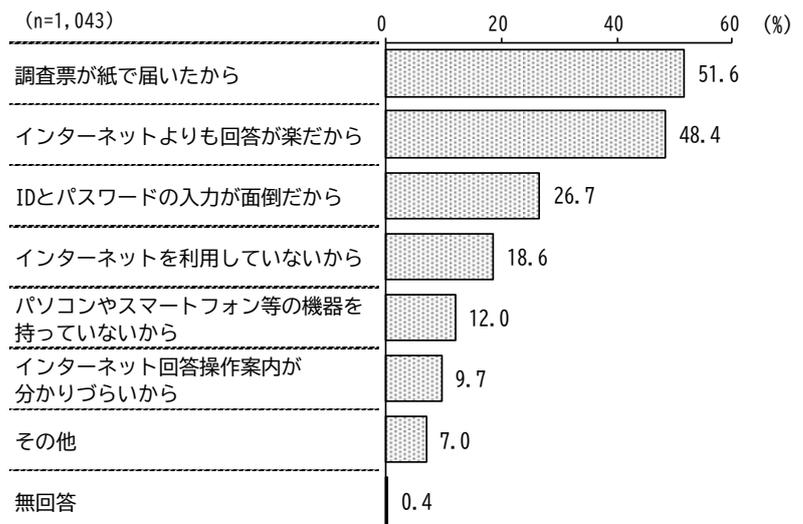
世論調査の回答方法を聞いたところ、「郵送回答（紙調査票へ記入）」（65.3%）が6割台半ばと最も高くなっている。また、「インターネット回答（スマートフォン等から2次元コードを読み取って回答）」（25.4%）と「インターネット回答（パソコン等から千葉県ホームページを検索して回答）」（7.3%）を合わせた『インターネット回答（計）』（32.7%）は3割を超えている。



## (1-1)郵送回答を選択した理由

(複数回答:いくつでも)

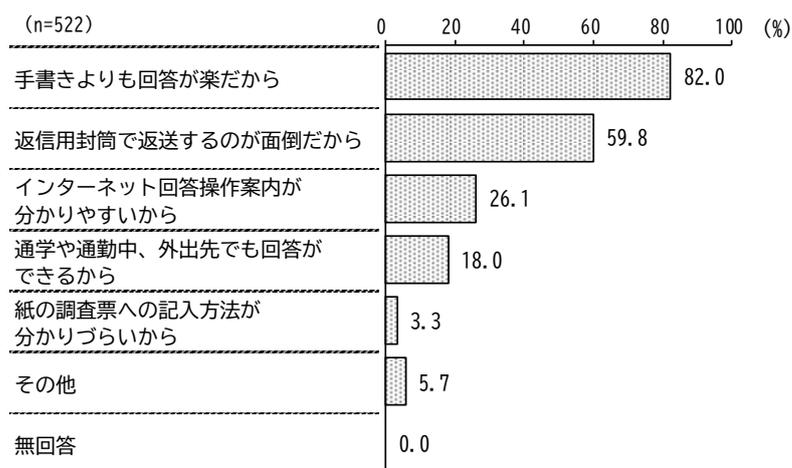
郵送回答を選択した理由を聞いたところ、「調査票が紙で届いたから」（51.6%）が5割を超えて最も高く、以下「インターネットよりも回答が楽だから」（48.4%）、「IDとパスワードの入力が面倒だから」（26.7%）、「インターネットを利用していないから」（18.6%）、「パソコンやスマートフォン等の機器を持っていないから」（12.0%）、「インターネット回答操作案内が分かりづらいから」（9.7%）、「その他」（7.0%）が続く。「無回答」は0.4%。



## (1-2) インターネット回答を選択した理由

(複数回答:いくつでも)

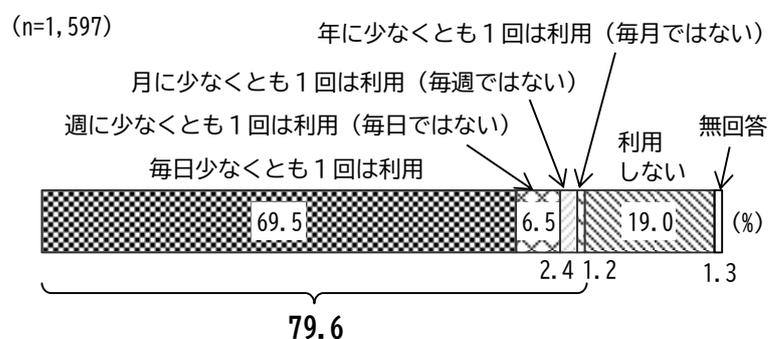
インターネット回答を選択した理由を聞いたところ、「手書きよりも回答が楽だから」(82.0%)が8割を超えて最も高く、以下「返信用封筒で返送するのが面倒だから」(59.8%)、「インターネット回答操作案内が分かりやすいから」(26.1%)、「通学や通勤中、外出先でも回答ができるから」(18.0%)、「紙の調査票への記入方法が分かりづらいから」(3.3%)、「その他」(5.7%)が続く。



## (2) インターネットの利用状況

インターネットの利用状況について聞いたところ、「毎日少なくとも1回は利用」(69.5%)が約7割と最も高くなっている。

また、「毎日少なくとも1回は利用」(69.5%)、「週に少なくとも1回は利用(毎日ではない)」(6.5%)、「月に少なくとも1回は利用(毎週ではない)」(2.4%)、「年に少なくとも1回は利用(毎月ではない)」(1.2%)を合わせた『利用(計)』(79.6%)は約8割となっている。



## 「世論調査について」の自由回答(抜粋)

ご意見やご提案を自由に記述していただいたところ、110人から回答が寄せられた。一部抜粋してご意見を記載するものとする。

### ■「世論調査について」の自由回答（抜粋）

○今回、このような世論調査があることをはじめて知りました。全ての県民を対象とすることは難しいと思いますが、抽出であってもこのような形で日頃思っていることを世論として知っていただけることはとても有意義なことだと思います。（男性、40代、東葛飾地域）

○世論調査を取りまとめた結果はどのように公表されるのでしょうか。行政内部の資料としてだけでなく、公表することも施策のアピールだと思います。（男性、70～74歳、葛南地域）

○調査は大切だと思いますが、この用紙の印刷代や回収に伴う郵便代などの経費もかかっていることと思います。集計も大変でしょう。人件費もかかりますね。マイナポータル(?)などでできるようになるといいですね。チーバくんのボールペン、ありがたく使わせていただきます。（女性、40代、葛南地域）

○最近はペーパーレス化で請求書、領収書、約款、手続き等もインターネット、ウェブ明細になっていますが、60代の私には見づらく、スクロールしたり拡大したり…まだページを探すのにも苦労します。今回の調査の様に回答の選択が出来るのは有難いことでした。（女性、60～64歳、千葉地域）

○インターネット回答ができるようになったのはとても良いと思います！でも、紙にも紙の良さがあると思うので、統計の手間が増えるのは承知の上ですがこのまま2つの方法を続けてほしいです。（女性、18～19歳、東葛飾地域）

○個人が特定されたり、あとで何か特定される事により困った事がおこらないか不安。（性別回答しない、60～64歳、葛南地域）

○県で実施する世論調査であれば、県が実施している・実施しようとしている政策・施策に対しての意見を問うことがまず必要と思います。今回の調査は一般的な内容ばかりであり、それぞれについて「県の具体的な政策・施策」を示し、それに対する意見を問うことこそが重要です。今回の調査は、その点で、あまり有意義でなかったと言わざるを得ないです。（男性、60～64歳、長生地域）

○チーバくんのボールペンをいただきありがとうございました。普段は面倒くさいので世論調査は封筒ごと放置なのですが、「チーバくんイラスト云々」の記載に思わず封筒を開封して、中身を手に取りに世論調査に回答しようと思いました。回答率の向上の為に、チーバくん同封は効果があると思います。費用対効果の点でも有効であると思います。（男性、50代、印旛地域）

## 自由回答(抜粋)

県への意見を自由に記述していただいたところ、県への意見については201人から延べ234件の回答が寄せられた。

記述いただいた内容は多岐に渡り、県政の各施策におおむね沿った形で整理した。意見の多い項目に関して、一部抜粋してご意見を記載した。

### ◆県政全般に関する要望

- より良い千葉県になれるよう、様々な工夫や挑戦をして、成長を願っております。前例はなくとも前向きな活動・提案・実行を共にお願ひ致します。千葉県独自のやり方で成長しましょう。(男性、40代、千葉地域)

### ◆次世代を担う子どもの育成支援を充実する

- 子どもが3人居て、生活費が回らない。子ども手当をもっと増やしてほしい。ローンが残っており家計が厳しい。(男性、30代、長生地域)

### ◆道路を整備する

- 交通渋滞の緩和をお願いしたい。(女性、50代、千葉地域)

### ◆県政の情報発信について

- 全国にもっと千葉県をアピールしてほしい。海の幸もありピーナツ、スイカ、ニンジン、梨と沢山あります。もっともっと全国、世界にもアピールを！(男性、70～74歳、葛南地域)

### ◆公共交通網(バス・鉄道)を整備する

- 高齢者の病院に行きやすさ、買い物に行きやすい交通への気くばりをよろしくお願ひします。(女性、75歳以上、居住地域無回答)

### ◆高齢者の福祉を充実する

- 年金暮らしで、少しのパート収入で暮らしています。高齢者用の市営バス・千葉県の電車の割引等があれば良いのでは！東京では都営バス・地下鉄が収入により無料等の特典があるようです。何年か先の自分の健康や暮らしについて不安です。(男性、70～74歳、千葉地域)

### ◆学校教育を充実する

- 子どもが英語をもっと学びやすい制度をお願ひします。良い環境で勉強をさせてあげたくても金銭的な問題やそういった学びの場所が少ない為、少しでも改善してもらえるとうれしいです。(男性、30代、山武地域)

### ◆災害から県民を守る

- この前の大雨で市内やとなりの茂原市が水害にあい、金銭的にも精神的にも、負担が大きかったと思うので千葉県からも支援してもらえたら嬉しく思います。(女性、40代、山武地域)

「県へのご意見について」自由に記述していただいたところ、「世論調査について」39人から39件の回答が寄せられた。これらのご意見から、一部抜粋してご意見を記載するものとする。

#### ◆世論調査について

##### 一 《世論調査自体への意見》

- 今まであまり県政のことは考えたことがなく、世論調査で初めて知ることがありました。これを機会に少しは議会報告などに関心が持てるかもしれません。  
(女性、75歳以上、東葛飾地域)
- 今回の調査の結果及び、これからの県の指針をわかりやすくフィードバックしてほしい。  
(女性、60～64歳、東葛飾地域)
- 今回初めての県政に関する世論調査を経験しました。県の政策に興味を持ったことはありませんでしたが、気にしてみようという機会になりました。  
(女性、40代、海匝地域)
- 当調査の必要性についてよくわからない点がありますが、データの分析及び発表に期待しています。  
(男性、75歳以上、東葛飾地域)
- 普段考える機会がなかったテーマを思い巡らす時間をいただけて、ありがとうございます。千葉県はとても住みやすく、災害なども少なく、自慢の県です。  
(女性、50代、葛南地域)
- 優先的に取り組む課題を多方面から意見を吸い上げて貰いたい。調査は数回あっても良いと思います。  
(男性、50代、君津地域)

##### 一 《調査手法や謝礼への意見》

- 世論調査がスマートフォンから出来るとは、便利な時代が来ましたね。大賛成です。  
(男性、70～74歳、葛南地域)
- 調査票の紙送付は不要だと思います。  
(男性、50代、君津地域)
- 今はどんどんネット社会になり、確かに便利になったのは認めます。でも私みたいに年齢を重ねインターネットが苦手な人間もいる事を忘れず、今回みたいに書面回答を同封してもらえると助かります。  
(男性、70～74歳、東葛飾地域)
- 余談ですがボールペンが入っていたので回答しました。ボールペンが欲しいわけではありませんが、なかったら回答していなかったと思います。(千葉県人なのでチーバくんのファンです)  
(男性、60～64歳、東葛飾地域)